

暁雲

【発行所】〒532-0006
大阪市淀川区西三国
2-12-43 自敬寺
TEL:06-6391-5348
FAX:06-6391-4567
jikeiji392@gol.com
https://jikeiji.com

寺報の名前の「暁雲」は自敬寺開山 暁雲禪師の名前をいただきました

新年明けましておめでとうございます。
令和四年を迎えることが出来ました。
皆様方にとって平安な年でありますように。

自敬寺住職 服部隆志 九拜

古井戸を蘇らせる

よみがえ

寺の片隅に半世紀以上使われていなかった井戸がある。蓋を開けてみると土がたまっていた水は無い。本堂を建て替えた時、埋めてしまう話もあったが残しておいた。それを昨年夏に再掘削してもらった。年の初めに水にまつわる思い出をたどってみる。

平成七年一月、阪神淡路大震災の時、水タンクを大量に集め液化化したポートピア病院に向かった。帰る途中、厳寒の芦屋川で洗濯をされていた女性がおられた。水道が使えないという。残っていたタンクをお渡しした。川の水を汲んで家に運べると感謝された。無くて気づく命の水。

学生時代、京都妙心寺の塔頭の寺にいた。肥汲みもするし畑も耕す。キュウリの季節はキュウリ尽くしだ。無駄にせず使い切る。五右衛門ぶろの風呂焚きもするし、学長のお背中もお流し



する。風呂の水は極力少なく使う、洗面器三杯だ。嵐山の名利天竜寺の本堂前に曹源池がある。碧巖録(禪の語録)に曹源一滴水と言う語がある。一滴の水が集まってやがて大河となる。ブツダの悟りを体得できる人となれという意味だ。学長老師は一滴の水も粗末にするな、という家風だ。



天竜寺の曹源池

ところで我が町の水事情はどうだろう。新大阪に近く、今でこそ交通の便が良くマシオンが林立しているが、江戸時代、排水の非常に悪い地域だった。農民自ら排水路を作った歴史がある。中島用水だ。新幹線の北側から十三病院の前を直角に曲がっている道路がそれだ。長柄の人柱の伝承もある。西中島、柴島、加島、砂、高須と水にまつわる地名も多い。一九七〇年の千里万博まで蓮池の多い低湿地帯だった。

昨秋に、小学2年生が町探検で寺にやってきた。リクエストは「昔の話をして下さい」だった。牛が田んぼを耕していたことや、雨の度に校庭が池になった事、蓮池でザリガニ釣りをしたことなどだ。学校の前の道路は川やった、と話すと、皆ワァー!と大騒ぎ、びっくりする顔を見るのは楽しい。帰りに井戸を見学、トトロの映画で見たのと同じ



だ、と言っている子がいた。

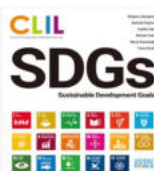
神崎川が数年前の台風と高潮であと20cmで越水する寸前だった。決壊すれば2mは浸かるだろう。命の水も時として凶暴性を発揮する。今道路の下に直径8mの大放水路を作っているらしい。アスファルト道路は雨水を全く吸い込まない。透水性の道路にすれば大地が吸収してくれ、夏には気化熱で温度が下がる。アスファルトを剥がし細かくしプレス、焼いて透水性レンガにすれば廃棄物も出ないし、コロナ禍の一大公共事業になる。下水の汚泥で透水性レンガが作れるのだから出来ないわけないと思うが、素人考えだろうか？

水にまつわるお話しの最後は冒頭の井戸の改修。工事は昨年夏前、一日で完了した。深さは4m余り、手押しポンプとモーターも付けてもらった。恵みの泉が湧いている。おかげで、境内の植木の水やりは大方井戸水に賄えた。有難いことだ。井戸の名は「災害時協力井戸」とした。



井戸を蘇らせて分かったことは、現代の私たちの生活は、便利に見えてとつても脆弱なものだという事だ。わずか数m下に地下水があるのに、我々は緊急時なすすべもない。持続可能な社会の目標が言われているが、身近なところから考えてみてはどうだろう。ブツダの説いた生活スタイルはSDGsな生き方だ。今年はその紐解く一年にしたい。

皆様にとって良き年でありますように。



令和四年元旦 隆志 再拜

初春の令き月にして 氣淑く風和ぐ

梅は鏡前の粉を披き 蘭は珮後の香を薫らす

令和元号の由来『万葉集』梅花歌三十二首并序の一節

新年あけましておめでと〜ございます。

幼なじみを竹馬(ちくば)の友と言っていた頃がなつかしく思います。今は竹馬(たけうま)で遊んでない友も同じように呼びます。言葉だけが残っています。親から子どもに受け継ぐ文化は時代によって変化します。



一万円の肖像が福沢諭吉から洪沢栄一に変わります。幣原喜重郎内閣の時の大蔵大臣が洪沢栄一の孫の洪沢敬三でした。外相が吉田茂、文相が安倍能成で一高の校長から文相になった人で夏目漱石の弟子でありました。

戦後日本を占領していたGHQは政策としてローマ字の使用を検討していました。しかし文字が文化の代表であると考えた日本人は、日本の精神の一大事と考え、漢字、カタカナ、ひらがなを残してきました。



今後はデジタル化が進み音文化に変化すると思います。漢字は意味文化、能などは心の中を知る文化です。色んな文化交流が、これからは生きる指針になると信じています。皆様方の今年の発展を祈念致します。

孫にまごまごしている内面の心をつつめる時、転んで転んで角がとれ丸くなった心、身心一如を話す時「心は頑固であり、身体は柔軟であれ」という。〇まるは円相を描くことであり、初春を祝う。祝う言葉が「謹賀」年始のあいさつ

護持会会長 平山眞史

自敬寺前住職 服部祖承和尚 3部作 大法輪閣

本人は出版2週間前に遷化(逝去)しましたが、皆さんに読んでいただいととても喜んでいると思います。

- ①日本仏教がわかる本 第7版
 - ◆仏教の歴史、各宗派の教えと特色、仏像、仏事、日常のおつとめ等。
- ②ブッダの教えがわかる本 第9版
 - ◆お釈迦様が説いた大切な教え解説。仏教用語や実践法、心の哲学、日々を生きる心得を紹介。
 - ◆読むと勇気がわき、人生の指針が学べる仏教入門書。
- ③お経の意味がわかる本 第6版
 - ◆般若心経などを訳し、内容やポイントをやさしく丁寧に解説。



このタイプの本が重版を重ねているのは異例らしいです。最近まで大手本屋にありました、アマゾン等でも取り寄せられます。自敬寺では著者割引です。

永代供養 合祀仏塔

(お釈迦さまに抱かれて)

- 永代位牌が本堂に祀られます
- 芳名板にお名前が刻まれます
- 過去帳に記し日課供養します
- 縁者がなくても供養されます
- ご遺骨はお釈迦様の蓮台下に土に帰るよう埋葬されます
- 施餓鬼・彼岸には全員の塔婆供養をしています
- 生前依頼は現在五十七名です
- 墓を整理して合祀される方も
- 永代供養費が必要です
- 維持費・管理料はいりません



今年の行事予定

- 涅槃会 二月八日
- 彼岸会 三月十八日
- 花まつり 四月八日
- 修養会 四月二日
- せがき 七月十五日
- おぼん 八月十三〜十五日
- 地藏盆 八月二十三日
- 彼岸会 九月二十日
- 成道会 十二月八日
- 毎月の行事予定
- 元氣運動歩こう会
- 写経会 毎月八日
- 坐禅会 第一日曜
- 仏面教室 第二金曜
- 仏典を読む 第三土曜



編集後記

○鴨川源流の真言宗志明院。ここから淀川へと繋がる。住職はダム建設に反対された。1万トン貯水できるダムを作るより1万本の木を伐採しなければよいと話されていた。

○随分昔、中国福建省の黄檗山万福寺の龍源井から頂いた聖水を隠元禪師が日本に初めて上陸された長崎に運んだ。そこから陸路、大阪高槻から徒歩で宇治の本山万福寺にひたすら行脚。煎茶の宗匠がお点前、開山堂に献茶した。

○インドのガンジス川の聖地ベナレス。4000キロ離れた村の選ばれた青年が聖水を汲みに来る。水は泥で透明度ゼロだが聖水なのだ。この水で儀式を行う。

○水に関係した話を列挙してみた。皆さんはどのような思い出がありますか？

○コロナウイルスの蔓延で人々の生活スタイルが変わった。元に戻らないことも多いだろうが「柳に雪折れなし」のことわざのように柔軟に対応して、しなやかに生きていく工夫をしていきたいものだ。



志明院の飛龍の滝



福建省の黄檗山万福寺



聖地ベナレス



2年前の地藏盆子ども会

住職 合掌

☆社会参加する寺院をめざして「聞く、思う、修める」

NGO自敬寺の今年のテーマ：ポストコロナ

今までのテーマの一部 ・生活の中の気づき ・地球的關係 ・豊かさの裏側 ・生きてるうちに ・私はすべてと繋がっている ・私達の生活は地球に優しいか？ ・私が気づいて出来る事 ・幸福とは何か？ ・持続可能な社会に向けて ・他者に生かされて ・足るを知る ・私にできるSDGs(持続可能な開発目標) ・コロナ禍での生活!!

★NGO自敬寺は阪神淡路震災被災者応援活動で出逢った東三国の橋本美千子さん(平成12年に43才で逝去され自敬寺合祀墓に眠る)の願いから発足しました。★活動資金は、法事のお膳料・おさい銭・バザー・寄付・托鉢・原稿料・講演料です。令和3年もコロナ禍で法事の減少や托鉢が出来ず、例年度比3割減の35万円になりました。

★お寺の理想像を目標に、今日にできる活動を進めています。ご提案や参加していただける方を募集しています。

令和3年度もコロナ禍ではありますが、以下の活動に直接的・間接的に参加しました

- シェア国際保健市民の会支援17年
- アークス仏教国際協力ネットワークの活動参加
- 国境なき医師団活動に寄付
- シャプラニール市民による海外協力の会支援
- 国境なき子ども達の活動に寄付
- チベットの平和を祈念し行動する会に参加
- CODE海外災害援助市民センター
- 薬物依存者自立支援の会・ダルクの活動支援
- 関西NGO協議会活動参加
- 止揚学園(知能障害を持つ子どもの施設)寄付
- OPHD協会(途上国青年教育支援)
- 東北熊本被災地・開発途上国応援商品の物販
- パレスチナ・ガザの聾学校支援
- バンラディシユ少数民族(ジユマネット)支援
- 被災地NGO協働センター神戸
- アクセス(共生社会をめざす市民の会)支援
- 春秋の彼岸の托鉢(昨年は中止)
- 「フリースタイルな僧侶たち」冊子作成支援
- 全国盲人援護会作品購入
- OSVAの子ども募金(タイの図書館整備)
- 黄檗宗青年僧災害復興支援基金の会
- 西成「故郷の家」に生活物資を届ける(夏冬)
- ムラのミライ(開発途上国農村支援)
- インドの子ども教育衛生活動支援(全青協)
- パルシック(フェアトレード商品購入)
- まち・コミュニケーション(神戸御蔵の市民の会)
- 日本国際飢餓対策機構活動に寄付
- 南太平洋友好協会活動寄付(サイパン交流・慰霊)
- ウータン森と生活(環境問題)寄付
- UNHCR協会(難民高等弁務官事務所)の活動寄付
- コリアNGOセンターの活動支援
- メコン河流域の環境調査活動(メコンウォッチ)寄付
- 郷土史研究会に参加
- インド・フィリピンの井戸堀活動(アジア協会)寄付
- 住職が保護司になって12年
- パンニャメッタ般若智慧の会(インド・マナケ和尚の活動)
- 住職が見守り隊員になって3年
- 国際仏教興隆協会(インドブツダガヤの日本寺の活動)
- 仏教テレホン相談員になって34年
- 一芸一座ギャラリー・ホーム慰問(昨年もコロナで中止)
- 住職が地域社協副会長になって2年
- コロナ禍家庭支援・ひきこもり当事者家族支援(全青協)
- 自閉症の作業所支援(能勢島島)
- AMネットの事務所を置く(寺カフェ共催)昨年は中止
- 口と足で描く芸術家協会(作品購入)



現在、自敬寺で進めている、持続可能な社会に向けての実践は以下のとおりです。

- ①SDGsに取り組んでいる行政やNGOの活動に参加や寄付をする(上記団体など)
- ②太陽光発電(20キロワット)装置を本堂屋根に設置 LEDライトに変更
- ③井戸の再掘削・雨水利用
- ④お墓の花・落ち葉の堆肥化しゴミにしない
- ⑤境内地の透水性を工夫をしている
- ⑥寺カフェ等を実施して学習機会を設ける



すべての行事はコロナ対策(消毒・マスク着用・十分な距離を保つ)を実施しています

○写経会 毎月8日

- ・1月8日(土)14時~15時
- ・用紙・筆ペン用意しています
- ・申込不要・いす席です



○仏画教室 第2金曜日

- ・1月14日(金)14時~16時
- ・申込不要・いす席です
- ・会費:2,000円(資料代を含む)
- ・講師:久保田聖淳先生(仏尚美術会会長)



○元気運動歩こう会 護持会企画・助成事業

- ・日時:1月11日(火)10時半
- ・行先:あびこ観音(大聖観音寺)
- ・集合:御堂筋線梅田駅ホーム内
天王寺方面 前から4両目自販機付近
- ・持物:交通費・昼食代(お店)



第36回 修養会 のご案内 自敬寺護持会主催

黄檗宗祖 隠元禪師350年 大遠諱法要 記念団参

- ・日時:4月2日(土)8時出発
- ・行先:黄檗山 萬福寺・泉桶寺他
- ・参加費:10,000円
- ・昼食:普茶弁当 重要文化財の齋堂にて
- ・交通便:バス1台(定員35名 大型バス)
- ・申込:先着順 参加費を添えて自敬寺へ



○大乘のマインドフルネス入門(小止観)

- ・1月15日(土)17時~18時半
 - ・会場:自敬寺・申込:不要
 - ・会費:1,000円(資料代を含む)
 - ・講師:林侃道師 姫路常福寺住職
- マインドフルネスは「今の自分に安らいでいる、心が落ち着いている」ことを意味する。



乾山(けんざん)基金のお願い

陶芸家尾形乾山は江戸期の画家尾形光琳の弟です。京都鳴滝の法蔵寺に最初の窯を開きました。その法蔵寺の住職は自敬寺に10年間奉職いただき、現在も彼岸会で司会をしている西川和尚です。乾山が法蔵寺で焼いた陶器は法蔵寺にありません。一つだけ買い戻すための基金です。詳しくは法蔵寺のHPをご覧ください。京都市右京区鳴滝泉谷町19 TEL075-463-4159 郵便振替:乾山基金 口座番号00940-1-99852 基金は一口2,000円



重要文化財

○坐禅会 第1日曜 1月休み

- ・2月6日(日)3月6日(日)
- 16時~17時半 いす席あり
- ・黄檗希運禅師の語録を味わっています
- 15時より写経コーナー開設



○ほとけ様の絵を募集しています

- かわいいほとけ様の絵を描いてください。
- ☆作品は四切サイズ 〆2月20日
- ☆応募資格:小・中学生
- ☆お問合せ:自敬寺
- 大阪青少年教化協議会の行事



郷土史研究会 報告書発行 十八条村・蒲田村郷土史研究会(仮)

の報告書が発刊されました。歴史を未来へ語り継ぐ資料です。1冊1,000円で限定配布。自敬寺にもあります。古い写真をお持ちの方ぜひ見せてください。関心のある方は1月13日(木)18時の 自敬寺での集まりを覗いてください



旧渡邊邸屋敷



昭和45年ごろ



初代の三国駅

護持会ではAEDを常設しています

AEDは心臓に電気ショックを与える機器です。音声ガイダンスに従って操作するだけで簡単かつ安全に救命処置が行えます。



集めています! 未使用切手、使用済み切手、書損じハガキ、文房具、ベルマーク、着物・帯・小物、雨具(カッパ・男性用傘)、男性用衣類(下着・靴下は新品)、毛布、リュック、タオル、カバン、スニーカー(25cm~)紙袋、石鹸、お茶、コーヒー、米、砂糖、レトルト食品、大きなカバン、消毒液、カミソリ、インスタントラーメン、ライター、マスク、手袋等



自敬寺のホームページ <https://jikeiji.com/>

「自敬寺」で検索、または右のQRコードでも読み取れます
グーグルからのアクセス件数が4万回を超えました
グーグルの地図から「本堂の内部」が見学できます



仏教テレホン相談室

話せば心も軽くなる 06-6245-5110
十宗派の僧侶が担当 無料。匿名。
正月は12日より 午後2時~5時 土日休み

